

代表 3

受 令和 5 年 6 月 7 日
付 (午前) ・ 午後 9 時 00 分

一般質問 (代表) ・ 個人) 通告書

令和 5 年 6 月 7 日

尾張旭市議会議長 殿

市民737"

氏 名 早川八郎

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 6 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 12 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項 (大項目) ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u>1</u>	市内名鉄瀬戸線4駅周辺まちづくりの未来予想図について
要 旨	<p>市内名鉄瀬戸線の4駅周辺まちづくりの未来予想図について、以下伺う。</p> <p>(1) 三郷駅周辺まちづくりについて</p> <p>現在、三郷駅前開発が進んでいる。これによって、人口増加や周辺の活性化が見込まれると思うが、柴田市長としてこのまちづくりの未来をどのように描き、新しい世代へと引き継いでいくのかを伺う。</p> <p>(2) 尾張旭駅周辺まちづくりについて</p> <p>尾張旭駅周辺まちづくりは、市役所と直結しているという点から重要な位置付けと考える。後の公共施設の再編成につながるが、市役所が市の一等地にあり、これを移転しそこに税収面で貢献できるまちづくりにする方がいいのでは？という声もある。そこで、市長が描く尾張旭駅周辺まちづくりの未来について伺う。</p> <p>(3) 旭前駅周辺まちづくりについて</p> <p>旭前駅は、旭野高校やかつては、名古屋市立保育短期大学の学生が通学のために利用されていた。また、近くに企業もあることから、「平子の森」を有効的に利用できるならば、魅力的なまちへと変貌することも期待できる。このようなことから、市長はこの駅周辺まちづくりについてどのような未来を描いているのかを伺う。</p> <p>(4) 印場駅周辺まちづくりについて</p> <p>印場駅については、特に北側の交通問題が大きな課題と考える。具体的には、歩行者や自転車の安全性、自動車の抜け道的な道路利用、ため池の有効利用など課題は山積している。この現状について、市長はこの駅周辺まちづくりをどのように未来を描いているのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	医療費窓口負担無償化拡大について
要 旨	<p>本市の医療費窓口負担無償化は、現在18歳までとなっている。この年齢区分を本来は、市民全員に拡大してほしいところだが、まずは、20歳までに拡大する考えはあるのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

<p>質問事項</p> <p>No. <u>3</u></p>	<p>公共施設や市有地の再編成について</p>
<p>要 旨</p>	<p>本市の歴史が、50年を超え様々な公共施設や市有地の在り方を再編する必要があると考える。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 総合体育館と市民プールと学校プールの再編について</p> <p>室内プール付きの総合体育館を早期に建設する準備をする必要があると思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 市有地の整理と活用について</p> <p>3月議会でもこの関連質問をしたが、平子の森をはじめ、長期に渡り眠らせている土地をいち早く、整理や活用の方向を見いだす必要があると考える。</p> <p>特に、第六次総合計画中の策定の方向においては、お金を使う内容が中心であり、お金を得る（歳入アップ）内容に乏しいと感じる。</p> <p>そこで、このことについて市長が描く未来について伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>4</u>	若者世代の定住と少子化との関係について
	<p>若い世代が尾張旭市に定住していただくことが、少子化解決策の一つと考える。そのための支援事業として様々なことが考えられるが、市長が描く具体的な若者世代の定住と少子化との関係の未来について伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>5</u>	ごみ問題の実態と早期解決への道筋について
要 旨	<p>ごみ問題は、本市に限らず全国各地で様々な問題を抱えていると思う。 特にカラス等の被害や戸別回収などの問題があり、早期解決の道筋を描かなければならない。</p> <p>その道筋を描くためには、まずは、地区それぞれの悩みの実態を把握し、より良い方法を市民に提案することが重要と考えるが、市長の見解を伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>6</u>	安全安心な都市基盤整備について
要 旨	<p>安全安心な都市基盤整備は、少子高齢化を迎える未来において、重要な案件である。今年4月1日より自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化となり、あわせて当たり前の話だが、自転車は、車道の左側を通行しなければならない。このルールは危険と隣り合わせで、実情とは合わないことは多くの方が感じていることではないか？</p> <p>しかし、このルールを本市だけで変更することは困難なことから、少しでも多くのところで、歩車分離のような安全安心が確保される都市基盤整備を加速する必要があると感じる。</p> <p>そこで、この都市基盤整備の未来を具体的に市長はどのように描いているのか伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>7</u>	正規職員と非正規職員の居場所について
要 旨	<p>3月議会で市長が述べられた所信表明の中に、「接客サービスの向上」がある。その具体的な行動として、「元気よく笑顔のおはようございます」の徹底がある。とてもすばらしいことで、浸透してきているのではないかと感じる。</p> <p>しかし、個人的に感じることもかもしれないが、正規職員と非正規職員との距離があり、特に非正規職員の休憩中の居場所がないのではないかと？</p> <p>市民サービスを向上するためには、働く仲間同士の関係性がとても重要であり、その環境整備も大切なことではないかと？</p> <p>これらのことについての市長の見解を伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>9</u>	部活動支援の早期構築の考えについて
	<p>小学校部活動支援のためのテスト的な取組が始まった。教員の働き方改革や子どもたちの放課後の居場所などこの問題解決は、若者世代の定住や少子化の明るい未来を描くことと感じる。</p> <p>しかし、テスト的ということもあってか、まだまだ保護者にも浸透していないのが現状ではないか？</p> <p>そして、重要なのが、指導者がいなければこの支援が成り立たないにもかかわらず、その育成の必要性や金銭面での支援など課題が山積している。</p> <p>そこで、この事業を市長がどのようにリードし、未来を描くのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>11</u>	市民の働き方改革と市内景気向上について
	<p>子育て世代の保護者がフルタイムの共働きはできないが、スキマ時間で簡単に少しでも収入を確保したいという方はいるのではないかと？</p> <p>実際、民間のバイト求人において、「今日だけ働いてほしい」とか、「数時間だけお手伝いしてほしい」というような需要が出てきている。</p> <p>この実態は、経営者側は、長期雇用は難しいという面と働き手は、スキマ時間だけ働きたいという構図である。</p> <p>この両者をマッチングさせることは、定住促進や財政面においても、本市としてメリットがあると感じる。</p> <p>そこで、シルバー人材センターの高齢者向きではなく、子育て世代のような方たちの時間を有効利用するようなビジネスマッチングの未来を模索することについて、市長の見解を伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>12</u>	軽自動車税の自動車関連事業者の取扱いについて
	<p>軽自動車税は、本市の重要な税収であるが、自動車関連事業者においては、乗ってもいない自動車（商品）の税金を払うということは、とても負担である。他市においても、この負担がないところもあることから市内事業者への事業支援として軽自動車税を負担させないという取組をする考えについて伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。